**2 青木　玉『明ける』**

ふとしたはずみで、海から昇るを見たいと思った。元日の朝、空は暗くやや雲があるが、海副都心の「レインボータウン」に向かって、家を出た。

①道にも駅にもがなく、からんと寒いホームのベンチで、夜通し騒ぎ疲れた若者たちが、時々、突拍子もない高笑いをし、終夜走り続けた電車はのまま黙々と動いていた。

もう大分前から、新しい年が立つという感慨はどこにも見られなくなった。僅か新年を祈願する名のある神社やお寺にをする人の波だけが、去年と今年を分けているかと思う。

高い建物のラウンジまで来た。まだ夜は明けず、ガラスで囲われた中の照明と暖かさは、やはり去年のみを閉じ込めていた。集まっている人たちは、互いにあまり口を利かず、それぞれ立ったり居たり。大方は若いが、カメラを持った働き盛りは自分の思いのⓐイッペンを記録したいのか。熟年の御夫婦、子供を抱いた若い両親。私のような女一人は見当たらなかったが、みんなⓑハツヒを見ようときたのだ。

ぽつぽつとドアを押して寒い外へ出始める人がある。ここまで来て、人の背中越しでは情けない。ちゃんと海から昇る陽が見たいと前のほうに立った。ⓒオダやかでほとんど風はないが、周りに遮るもののない高さである。着ぶくれた胴はいいが、顔も手足も寒さがしみて体がかたく硬直する。

海も空もまだ明るさは見られない。周りはほとんど人で埋まり、動きがつかない。目を上げて空をⓓアオいだ。空はむしろ陽の光を受ける後ろのほうがく見える。どこから飛んでくるのか、カラスの声が頭の上を通り越して、何羽かずつ海のほうへゆく。いくら首を回して見ても来る道筋は見えないのに、急に頭の上で声がする。手元の時計は日の出の時を指し、背後の空はバラ色に染まる。あたりはどんどん明るく明けて来たのに、灰色のが厚く、陽は昇らない。

目を凝らして五分待った。②残念だが、もうここに居られる時間は私にはない。家の台所のやかんや鍋が早く早くと呼んでいる。帰ろうと後ろに向き直った。そこに見る等しく陽を待つ顔が白く並び、ひたすら輝きを待つ目がある。

③あわれあな面白、あなやけ、これは神代の昔からの人の姿、陽は待たれているのに。

走って走って「りかもめ」に乗った。座席にいた家族の小さな子が声を上げた。

「お母さん、いお日さま」

ぽっかり海を離れたばかりの、大きな陽は周りを赤くませて昇っていた。固く結んだ思いがいち時に解け、④望みがって豊かな思いが胸に満ちた。

陽とともに新しい年が立った。

語　注

臨海副都心の「レインボータウン」＝東京臨海副都心のこと。東京都が策定した副都心で、「レインボータウン」はその公式愛称。

御来迎＝日の出・日没時に、山の頂上に立つと、前方の霧の中に、が美しい光の輪を負って極楽浄土から迎えにくるような像が見えること。太陽を背にして頂上に立った時に起こる。

さやけ＝「さやけし」（形容詞）の語幹。清らかで、澄んでいること。

ゆりかもめ＝臨海副都心を走る列車。

問1　二重傍線部ⓐ～ⓓのカタカナを漢字に直せ。（3点×4）

ⓐ〔　　　　　〕　ⓑ〔　　　　　〕

ⓒ〔　　　　　〕　ⓓ〔　　　　　〕

問2　傍線部①とあるが、この様子に筆者が抱いた感想を述べている箇所はどこか。その一文の最初の五字を抜き出せ。（10点）

〔　　　　　　〕

問3　傍線部②とあるが、それはどうしてなのか。その理由として最も適当なものを次から選べ。（9点）

ア　寒さが厳しく顔や手足がかたく硬直したから。

イ　海から昇るを一人で見たいと思ったから。

ウ　周りの人にあまりにも迷惑をかけていたから。

エ　家に帰って家事をしなければならなかったから。

〔　　　〕

問4　傍線部③とあるが、筆者のどのような心情が表れているか。最も適当なものを次から選べ。（10点）

ア　陽を待つ人々の表情に感動している。

イ　陽を待つ人々の根気に感心している。

ウ　陽を待つ人々の目に希望を見いだしている。

エ　陽を待つ人々の表情が同じなので驚いている。

〔　　　〕

問5　傍線部④とあるが、筆者の望みとは何か。本文から十字で抜き出せ。（9点）

〔　　　　　　　　　　　〕

練習問題〈同音異義語〉

次の空欄に適当な漢字を入れよ。

①　キ

　人工衛星が（　　　　）道にのる。

　人生の（　　　　）路に立つ。

②　コウショウ

　賃上げ（　　　　）をする。

　時代（　　　　）をする。

③　ヘイコウ

　（　　　　）感覚に優れる。

　人ごみに（　　　　）する。

④　ダトウ

　相手を（　　　　）する。

　（　　　　）な判断を下す。

⑤　シンギ

　内容の（　　　　）を確かめる。

　議案を（　　　　）する。

【解答】

問1　ⓐ一片　ⓑ初日　ⓒ穏（やか）　ⓓ仰（いだ）

問2　もう大分前

問3　エ

問4　ア

問5　海から昇る陽を見たい（海から昇る陽が見たい）

【練習問題解答】

①軌・岐　②交渉・考証　③平衡・閉口　④打倒・妥当　⑤真偽・審議

【50字要約例】

新しい年が立つというような感慨はなくなっていたが、海から昇る陽を見て、新年を迎えた気分が高まった。（49字）